

日漢協講演会

2020年1月17日(金)、KKRホテル東京において行われた日漢協 第219回理事会終了後、帝京平成大学薬学部教授の渡邊伸一先生を招いて「コンプライアンス意識のさらなる強化のための取組み」と題してコンプライアンス研修会が開催された。

まず、厚生労働省による違反事例の分析と改正薬機法について説明があり、続いて日漢協会員企業の状況として、日漢協コンプライアンス・プログラム・ガイドラインを取り上げられた。



【渡邊伸一先生】

厚生労働省による最近の違反事例の原因分析では、2つのパターンがある。

- ①違反状態にあることを役員として認識しながら、その改善を怠り、漫然と違法行為を継続。
 - ②適切な業務運営体制や監督体制が構築されていないことにより、違法行為を発見または改善できない。
- これらの原因分析も踏まえ、法令遵守体制の構築のために今回の薬機法改正が実施されたと解説された。

最後に、法令違反が行われなかったためには、

- ①行わない意識の定着
 - ②行う必要がない環境の整備
- が必要であると締められた。

そして、もし法令違反が行われていたら、企業へのダメージも考慮した対策案を検討して相談に行くべきとのアドバイスもいただいた。

